



正応寺川 防災安全交付金（通常砂防）工事 第3期

VOL.1 平成30年5月発行

正応寺川 砂防ダム第3期 工事現場だより

創刊にあたって

工事現場で行われている作業は、専門的で地元住民の方々には分かりにくいものになりがちです。そのため当該工事では地元住民の皆様に対し「**今現場で何を行っているか**」「**いつ工事が完成するのか**」などの情報を分かりやすくお伝えし、工事に関心をもっていただけるよう「**工事現場だより**」を毎月発行することにしました。大変勝手ではありますが、工事完了予定の9月までお付き合い頂きますよう何とぞ宜しくお願い致します。

現場からのお知らせ

工事進捗

諸準備を終え5月のゴールデンウィーク明けから本格的に現場が始動し、まずダム部分を掘った土を仮置きするため、置場の伐採を行い木や根の搬出を行いました。その後ダム部分の掘下げに取り掛りました。

【5月の進捗】

予定：8%

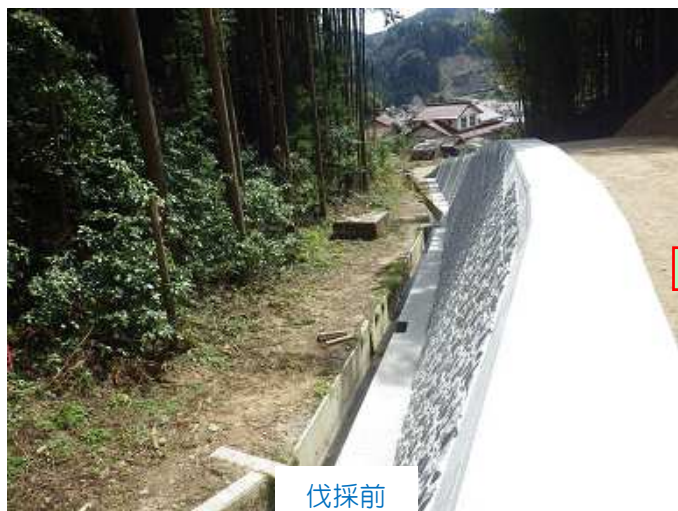
実施：8%



伐採作業



根株撤去作業



伐採前



伐採後



ダム部分 着手前(3月)



ダム部分 現在(5月)

※ 裏面へ

いま現場では…

- ①ダム部分の掘下げを重機により行っています。（高い所へ重機が登り、そこから掘下げています。）
- ②上記で掘った土を仮置きする場所に遮水シートを張り、土を置く準備をしています。

ダム部の掘下げを行っております。地表面は土砂のため掘ることが容易でしたが、作業開始2日目には軟岩（なんがん）という固い層が部分的に出てきました。そのため通常のバックホウでは掘ることが出来ないため、『ブレーカ』という岩を砕く装置をバックホウに取り付け、これとあわせ複数の重機で掘り下げを進めています。



重機掘削作業

ブレーカを使用すると
（トン・トン・トンと岩を砕く音がします。）



ブレーカ掘削作業

今後の工事予定（6月）

- ①引き続きダム部分の掘下げを行います。
- ②掘った土砂を仮置き場まで運搬します。

土砂の運搬で使用する機械です。
不整地運搬車（通称：クローラダンプ）という悪路の走行に適した特殊な機械です。一度に10tの土砂を積んで走行します。



地元皆様へのお願い

上記より、今後はダム部分での掘削は固い岩を砕きながら進めます。その際はどうしても「トン・トン・トン」と音が発生します。地元皆様にはご迷惑をお掛けしますがなにとぞご理解いただきたく、お願い申し上げます。

また、作業で使用する各種トラックの往来がありますので、安全に十分注意して通行いたします。

正応寺川 砂防ダム第3期 工事現場だよりへのご意見・ご質問等

- ◆【連絡先】正応寺川 防災安全交付金（通常砂防）工事 第3期作業所
〒693-0105 出雲市宇那手町 381-1
電話：0853-48-2060（ファックス兼用）
E-mail：k-moriwaki@kamuken.co.jp
担当：森脇・小畑

- ◆【本社】有限会社 嘉村建設
〒693-0105 出雲市宇那手町 355
電話：0853-48-0130
ファックス：0853-48-0168
URL：<http://www.kamuken.co.jp>



引き続きご理解
とご協力を
頂きますよう
お願い申し上
げます。